

令和6年度 維持管理の状況に関する情報（ごみ焼却処理施設）

1. 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

	廃棄物の種類	単 位	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
1 号炉	一般廃棄物	トン	598.28	2289.96	108.32	2157.48	227.68	811.83	2269.2	118.58	2071.39	2186.51	399.31	754.15	13992.69
2 号炉	一般廃棄物		1559.36	101.85	1896.39	242.97	2092.91	315.09	439.84	1842.26	0	0	1120.2	566.36	10177.23

2.ばい煙等測定結果

測定年月日		ばいじん	窒素酸化物	硫黄酸化物		塩化水素	ダイオキシン類	燃焼ガス温度	集じん器入口 排ガス温度	排ガス中の 一酸化炭素濃 度	ガス状水銀濃度	粒子状水銀濃度	全水銀濃度
	単 位	g/m ³ N	ppm	ppm	K値	mg/m ³ N	ng-TEQ/m ³ N	℃	℃	ppm	μg/Nm ³	μg/Nm ³	μg/Nm ³
	基準値	0.080	250	—	8.00	700	5	800以上	200以下	100以下	50以下	50以下	50以下
令和6年4月5日	2号炉	0.007	62	5.8	0.03	3.9							
令和6年5月7日	1号炉	0.018	38	5.0未満	0.03未満	1.0							
令和6年6月4日	2号炉	0.005	65	5.0未満	0.03未満	0.96							
令和6年7月8日	1号炉	0.007	42	5.0未満	0.02未満	4.5					0.22	0.002未満	0.22
令和6年8月20日	2号炉	0.008	30	5.0未満	0.03未満	3.7					0.09	0.002未満	0.09
令和6年10月4日	1号炉	0.029	29	5.0未満	0.03未満	1.3							
令和6年10月4日	2号炉	0.007	35	6.0	0.03	17.0							
令和6年10月7日	1号炉						0.51	845	198	9			
令和6年11月1日	1号炉	0.032	25	5.0未満	0.03未満	2.6							
令和6年12月12日	1号炉	0.005	47	5.5	0.03	1.2							
令和7年1月17日	1号炉	0.002	36	5.0未満	0.03未満	2.2					0.92	0.002未満	0.93
令和7年2月20日	2号炉	0.014	36	6.0	0.03	1.2					0.12	0.002未満	0.12
令和7年2月26日	2号炉						4.60	874	199	15			
令和7年3月3日	2号炉	0.010	11	5.0未満	0.03未満	1.1							

単位について

m³N

Nは「ノルマル」と呼び、0℃、1気圧の標準状態を表す。

1 m³Nとは、標準状態（0℃、1気圧）に換算した、1 m³のガス量を表す。

ppm（ピーピーエム）

「ピーピーエム(ppm)」は試料中の物質の量を100万分の1で表わす単位。

K値

硫黄酸化物は、排出口（煙突）の高さに応じて許容排出量を定める方式で規制され、基準値はKで表される。

K値は、政令で定める地域ごとに環境省令で定められ、K値が小さいほど厳しい基準となる。

鹿沼市のK値は8.0に定められている。

ng（ナノグラム）

「ナノグラム(ng)」は10億分の1グラムを表す重さの単位。

TEQ（毒性等量）

ダイオキシン類は種類によって毒性の強さが異なり、ダイオキシン類としての全体の毒性を評価するために、

最も毒性が強いとされている「2,3,7,8-四塩化ジベンゾジオキシン（TCDD）」の毒性を1として、

この毒性に比較して定められた種類ごとの係数を乗じて合計したものをいう。